

活動報告

2013年

- 11月
 - ・ベビーシッター育児支援事業開始
 - ・けいはんな女性研究者ネットワークが関西科学塾に協力、茶話会開催（9日）
 - ・オープンキャンパス2013（高山サイエンスフェスティバル）にて一時託児サービスを実施（10日）

2014年

- 2月
 - ・第2回男女共同参画推進委員会議開催（28日）
 - ・ホームページリニューアル（3日）
 - ・井上学長補佐（男女共同参画担当）が徳島大学AWAサポートシステム2013「正の連鎖へ！女性も輝く多様性社会」にて講演（3日）
- 3月
 - ・アカデミックアシスタント申請募集開始
 - ・オープンキャンパス2014にてセミナー「集まれ！女子学生！今度は私がロールモデル！」を開催、一時託児サービスを実施（8日）

TOPIC!

セミナー「集まれ！女子学生！今度は私がロールモデル！」を開催

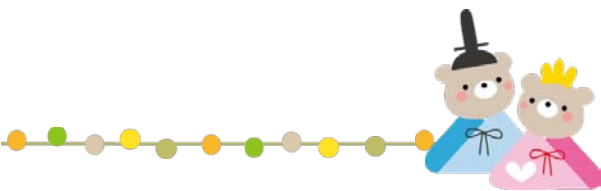
2014年3月8日（土）奈良先端大オープンキャンパスでは、バイオ棟のセミナー室で受験生を対象に「集まれ！女子学生！今度は私がロールモデル！」を開催しました。情報、物質、バイオの3研究科それぞれから女子学生が講師として講演しました。自分が理系に入ろうと思ったきっかけ、実際の研究室での研究内容、また自身の今後の展望などについて、スライドを交えながら分かりやすくお話しいただきました。先端大の研究水準や設備面での充実度などから、研究をするにはとても恵まれた環境である



こと、また、研究室の雰囲気はとてもアットホームで学生同士も仲がよく、色々なイベントを通して交流を深めることもでき、充実した研究生活を送ることができる、など現在の生活についても紹介がありました。セミナーを聞いた女子学生からは「たまたま、同じ大学の先輩だったので、細かいことまでいろいろと聞けてすごく良かった」



「先輩と直接話ができる機会がもてて非常にためになりました」との声がありました。講演した学生からは「こういう場で話をするのは初めてだったが、とてもいい経験をさせてもらった。受験生の相談に実際にのることができてよかった。またこんな機会があればぜひ協力させてもらいたい」との感想がありました。



アカデミックアシスタントの効果

妊娠、出産、育児等に関わる研究者の時間不足を解消し、これにより最先端研究との両立と成果の向上に資することを目的として、研究者の指示に従って研究・実験を補助するアカデミックアシスタントの配置を行っています。今年度も3名の教員に配置しています。この制度を利用している研究者と、アカデミックアシスタントとして活躍されている方の声を集めました。

配置を受けて

子育てのため、限られた時間内で仕事を進める必要がありますが、実験を分担することで効率的に進められ、とても助かりました。

実験のお手伝いをしていただいたおかげで、限られた時間を有効に使い、集中して論文をまとめることができました。とても助かりました。

日々の育児にかかる時間により研究活動が制限されていますが、円滑に研究を進めることができました。また、研究をサポートしていただいたおかげで、今年度は国外で開催されたシンポジウムや国際会議に参加して、研究発表や情報交換を行うことができました。

研究成果UP

アカデミックアシスタントになって

10年のブランク後の社会復帰1年でアカデミックアシスタントに採用していただきました。就業時間が短かったので、主婦業の傍ら無理なく実験等で最先端の研究に関わることができました。また、先生を始め周りのスタッフの方々も主婦が多かったので、心強く楽しんで仕事ことができました。

研究を進めるうえで、実験の知識および技術を身に付けることができました。

研究の進展に伴い、実験内容も様々に変化しましたが、そのおかげで色々な実験ができるようになり、私自身のスキルもアップしたと思います。

ホームページをリニューアル!

情報の提供や、透明性の高い事業活動を目指すうえで、ホームページをより快適に利用していただけるように、情報を整理し、分かりやすくしました。



ここがポイント

1. カテゴリの整理

「支援」「情報」など、わかりやすく整理しました。

2. 「支援一覧」を用意しました。

どんな支援があるのかが一目瞭然!

3. ナビゲーションの設置

対象者別に利用できる支援が視覚的にわかるよう色で案内します。

ランチミーティングから

2月6日(木)にランチミーティングが行われました。昼食をとりながら学生指導の話、子どもの話、いろいろな話題ができました。この日は1月から本学就任の武藤助教も参加されました。ランチミーティングは男女共同参画に興味のある人ならだれでも参加できます。ランチミーティングは月1回の開催です。ぜひご参加ください。



ようこそ、
武藤先生

先生は女性研究者スタートアップ研究費の助成開始です。

今後の活動予定

- 5月
- ・第1回男女共同参画推進委員会議
 - ・オープンキャンパスにてセミナー開催予定、イベント時一時託児サービス実施予定(17日)

26年度はこれまでの事業の継続、一部事業利用対象者の拡大、シンポジウムの開催、そしてあらたに介護セミナーの開催を予定しています。

手続きがそれほど面倒でなくよかったとの声をいただいています。

お知らせ

ベビーシッター育児支援事業割引券

本学の教職員の育児と就労の両立を支援するため、「ベビーシッター育児支援事業割引券」を発行しています。この割引券を利用してベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金から1家庭につき1,700円の割引が受けられます。詳しくは参画室HPをご覧ください。

URL: <http://www.naist.jp/gender/index.html>

生駒市が保護者が大学院生である子どもの保育所入所選考基準を見直しました

生駒市は、平成26年4月から保育所入所の選考基準を見直し、保護者が大学院生である子どもは、これまでより保育所への入所が優遇されることになりました。

従来生駒市が定めている保育所入所の選考基準では、子どもの保護者が学生である場合には、会社等の就労者と比較して低い基準点数での選考となっていました。

なお、この学生の範囲の中には、全ての学生が含まれており、大学院生もこれに含まれていました。

しかし、大学院生が教育研究に従事するスタッフであるということは、グローバルスタンダードであり、在学中に育児・出産をすることは、珍しいことではないものとなっています。

そこで、保護者が大学院生である場合の保育所入所選考について、学生とは別の就労者と同等の基準点数での選考が行われるように、本学から生駒市に保育実施選考基準の見直し要望を行いました。

その結果、学生の中でも、特に大学院生は教育研究に従事する就労者の項目に準じて、平成26年4月入所の選考から会社等の就労者と同等の基準で選考が行われるようになりました。

なお、この基準の見直し後、実際に生駒市保育所に入園希望であった本学大学院生(留学生)の子どもの入園が、平成26年4月から第一希望の保育園で認められました。

(参考) 平成26年度生駒市保育実施選考基準点数表(一部抜粋)

類型	細目	適用	指数
家庭外労働	外勤	週5日以上かつ1日7時間以上勤務している場合	9
		週5日以上かつ1日6時間以上勤務している場合	8
		週5日以上かつ1日4時間以上6時間未満勤務している場合	7
	週4日	週4日以上かつ1日7時間以上勤務している場合	7
		週4日以上かつ1日4時間以上7時間未満勤務している場合	6
	自営	中心者である場合は「外勤」に準ずる	6~9
協力者である場合は「外勤」に準ずるが、最高指数は「8」とする		6~8	
保護者が学生	保護者が週4日以上かつ1日4時間以上修学している場合	6	

*従来大学院生は、「保護者が学生」の項目が適用されていましたが、今回の基準見直しにより、「外勤」の項目として適用されることとなります。